

消防だより

令和3年(2021年)
7月末現在の出動件数

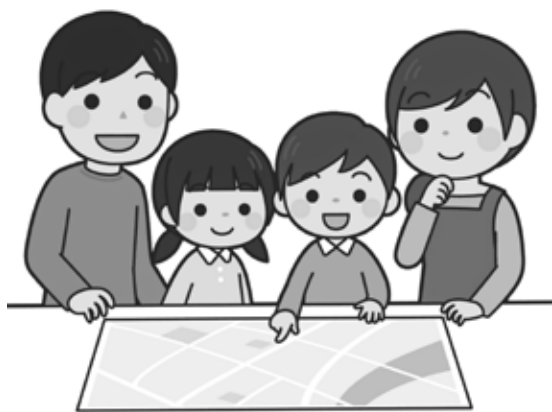
有田川町消防本部 ☎52・5950
 吉備金屋消防署 ☎52・5950
 清水消防署 ☎25・1243

火災 : 17件
 救急 : 696件
 救助 : 3件

病院紹介(和歌山県救急医療情報センター) ☎073・426・1199

備える防災

近年、台風や大雨による洪水、地震などの自然災害が多く発生しています。災害時に自分や家族を守るために、日頃から防災意識を高く持ち、災害に備えておくことが重要です。



ハザードマップ

皆さまは、災害が起きたらどこに避難すればいいのか、どこが危険なのか知っていますか。これらを知らない、災害時に安全に行動できません。

災害が発生したときに落ち着いて身を守る行動がとれるように、ハザードマップを使って考えてみましょう。

- ①自宅の位置を確認し、しるしをつける。
 - ②最寄りの避難場所を確認し、しるしをつける。
 - ③避難経路を考える。
- ・自宅の位置と併せて、危険な場所も確認する。
 - ・最寄りの避難場所だけでなく、複数の避難場所を確認しておく。
 - ・危険な場所を避け、安全な経路を考える。

- ④家族で実際に避難経路を歩いてみる。
- ・実際に歩き、避難にかかる時間の確認や、目視で危険な場所の確認をする。

※ハザードマップは町ホームページ、スマートフォン向けアプリ「ありだが防災・行政ナビ」から確認できます。

危険物の取り扱いに注意しましょう

換気状態の悪い室内で、草刈り機用の混合ガソリン燃料を誤ってこぼし、拭きとった後に蚊取り線香に火をつけようとしたところ、気化した燃料に引火し、火傷を負うという事故が町内で発生しています。

- 危険物を取り扱う、保管する際は次のことに注意しましょう。
- ・取り扱う際は風通しの良い場所で行い、周囲に火気がないかなどの安全確認を行う。
 - ・直射日光が当たる場所や高温になる場所、火気のある場所には保管しない。
 - ・ガソリン携行缶のふたを開ける際は、必要以上に保管しない。

救急出動の状況

令和3年(2021年)1月～6月

令和3年(2021年)上半期(1月～6月)の救急出動件数は582件、搬送した人数は540人でした。昨年の同期間と比較すると増加しています。

救急搬送人数を年齢別に比較すると、高齢者が363人と最も多く、全体の67%を占めています。

成人は138人、少年は21人、乳幼児は18人、新生児は0人でした。

※新生児/生後28日未満

乳幼児/生後28日以上～満7歳未満
 少年/満7歳以上～満18歳未満
 成人/満18歳以上～満65歳未満
 高齢者/満65歳以上

